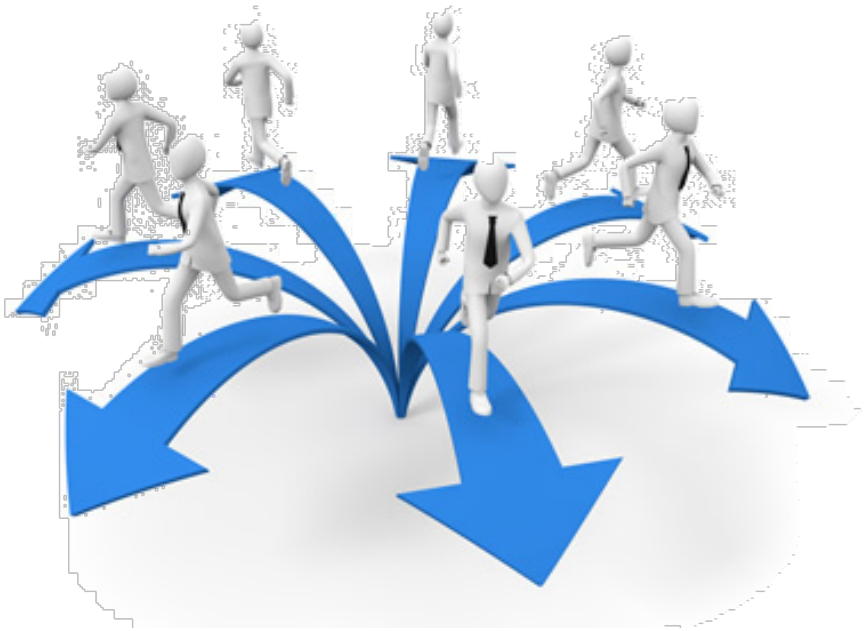
R8.11.11

創造工学科
第一学年

第3回

コース・系選択
支援ガイダンス



校章・校訓・基本教育目標



校章の由来

山形県の「山」の文字を地として，「高専」の両側に出羽の国の「羽」を配し，鶴岡の「鶴」の華麗にして雄々しい羽ばたきを象徴する。



ロゴマークの由来

直線と曲線は，正確さと柔らかい自由な発想を象徴し，鶴の飛翔をモチーフに，世界に羽ばたき，そして未来を創造できる人になって欲しいという願いが込められている。

校　訓

理魂工才

自学自習

基本教育目標

1．豊かな人間性と広い視野を持ち，社会人としての倫理を身につける
2．あらゆる学習を通じて思考力を鍛え，創造力に富んだ技術者になる
3．専門分野の基礎を良く理解し，実際の問題に応用できる能力を培う
4．意思伝達及び相互理解のため，十分なコミュニケーション力を養う

○卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

Ⅰ．養成する人材像

多様な価値観と広い視野を持ち、人間性と創造性に富み、基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い実践的技術者

Ⅱ．ディプロマ・ポリシー

1．創造工学科のディプロマ・ポリシー

養成する人材像をもとに、下記の能力及び姿勢を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（A）知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力
（B）専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を活用できる能力
（C）論理的表現力と外国語によるコミュニケーションができる能力
（D）専門分野の知識と情報技術を身につけ、ものづくりに幅広く対応できる実践力
（E）幅広い教養と技術者・研究者としての倫理に基づき行動する姿勢

2．コースのディプロマ・ポリシー

機械コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、機械コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（1）機械工学に関する体系的な知識と技術
（2）機械、メカトロニクス、材料工学等の基盤技術
（3）機械、メカトロニクス、材料工学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

電気・電子コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、電気・電子コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（1）電気・電子工学に関する体系的な知識と技術
（2）エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー等の基盤技術
（3）エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー技術の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

情報コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、情報コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（1）情報工学、システム制御等に関する体系的な知識と技術
（2）ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学等の基盤技術
（3）ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

化学・生物コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、化学・生物コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（1）化学、生物学に関する体系的な知識と技術
（2）物質・材料、生物工学等の基盤技術
（3）物質・材料、生物工学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

デジタルデザインコース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、デジタルデザインコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

（1）デジタル・リベラルアーツを主軸とした工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかに関する体系的な知識と技術
（2）デジタル・リベラルアーツを主軸とした機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学等による基盤技術
（3）機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学のいずれかの視点に立って社会的な役割を理解し、データサイエンス、ＡＩなどを用いて技術的課題を解決するデザイン能力と実践的能力

○教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

1　カリキュラムの編成方針

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、５年一貫の教育課程の中において一般科目、専門科目を適切に配置し、創造性豊かな技術者、研究者として将来活躍するための知識及び技術を習得できるように体系的に教育課程を編成します。

（１）創造工学科のカリキュラム・ポリシー

（A）知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力を身につけるため、グループワークを取り入れた科目や卒業研究などを編成しています。

（B）専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を身につけるため、数学、物理、化学、生物に関する科目を編成しています。

（C）論理的表現力と外国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、国語、英語、第二外国語に関する科目を編成しています。

（D）専門分野の知識と情報技術、ものづくりに幅広く対応できる能力を身につけるため、専門基礎、情報処理、実験・実習などの科目を編成しています。

（E）幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につけるため、人文社会に関する科目を編成しています。

（２）専門コースのカリキュラム・ポリシー

各専門コースでは、専門分野の知識と技術を身につけるため、以下の方針に従ってカリキュラムを編成しています。

【機械コース】

機械工学分野の専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは４・５年生時で選択可能なデザイン工学分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【電気・電子コース】

電気電子分野の専門知識と技術を身につけるため、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギーに関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは４・５年生時で選択可能なエレクトロニクス分野、メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【情報コース】

情報工学分野の専門知識と技術を身につけるため、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは４・５年生時で選択可能なＩＴソフトウェア分野、メカトロニクス分野にも適用します。

【化学・生物コース】

化学・生物分野の専門知識と技術を身につけるため、物質・材料、生物工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。本コースのカリキュラム・ポリシーは４・５年生時で選択可能な環境バイオ分野、資源エネルギー分野、材料工学分野にも適用します。

【デジタルデザインコース】

デジタル・リベラルアーツを主軸とし、工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかの専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学のいずれかに関連したデータサイエンス、ＡＩなどを活用した授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

2　学習方法・学習内容に関する方針

編成した教育課程を通じて学修成果が効果的に得られるよう、低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特徴を活かし、講義、演習、実験・実習による授業を実施します。専門知識の定着と活用力を涵養するため、アクティブ・ラーニング型の授業を行います。

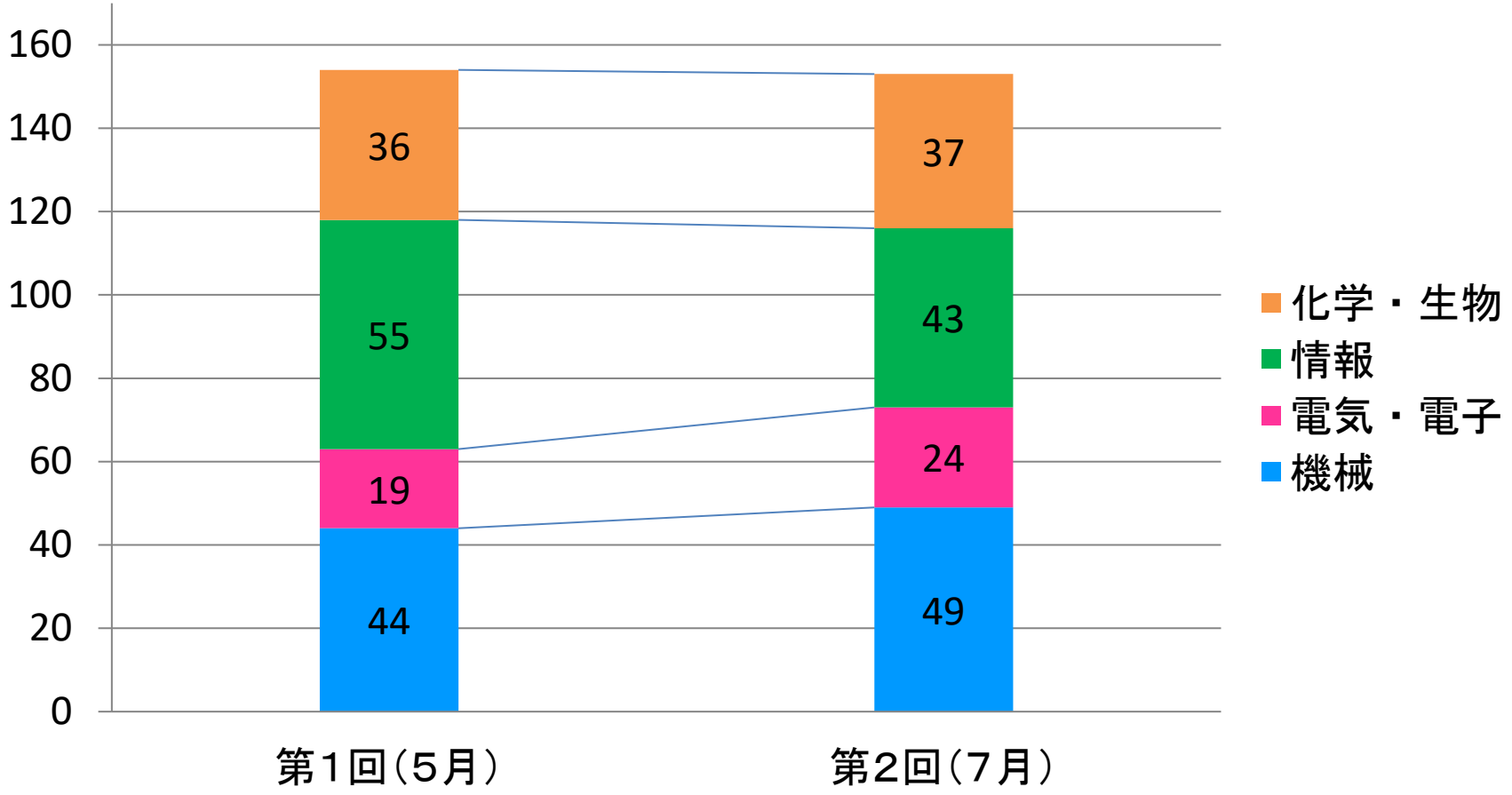
3　学修成果の評価

全ての科目はシラバスに明示した学修到達目標を達成するために、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価しています。従って、各科目の合格により、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を身につけたと見なされます。

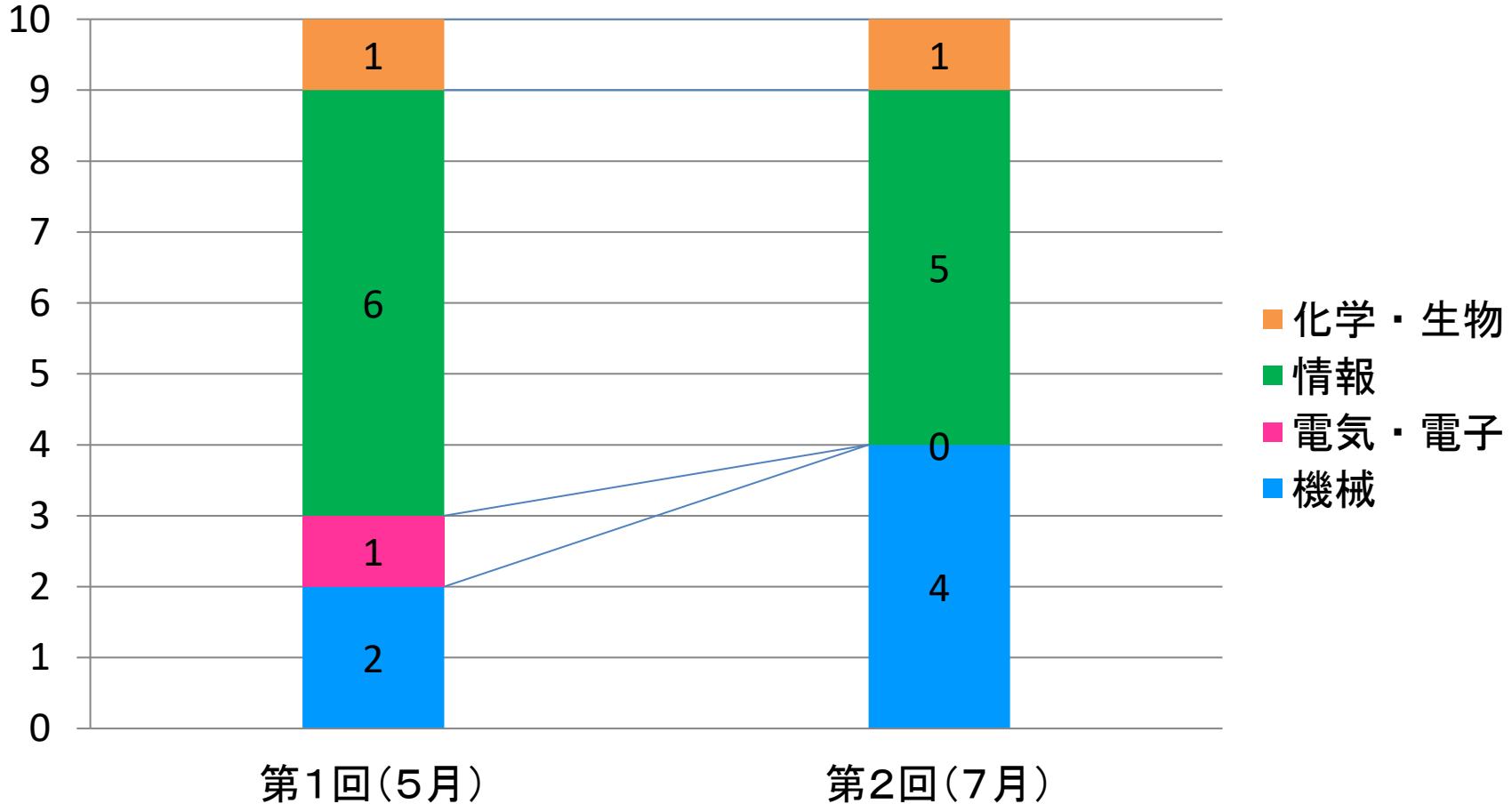
説明内容

・希望調査結果の推移について
・配属方法の確認
・コース・系配属希望調について

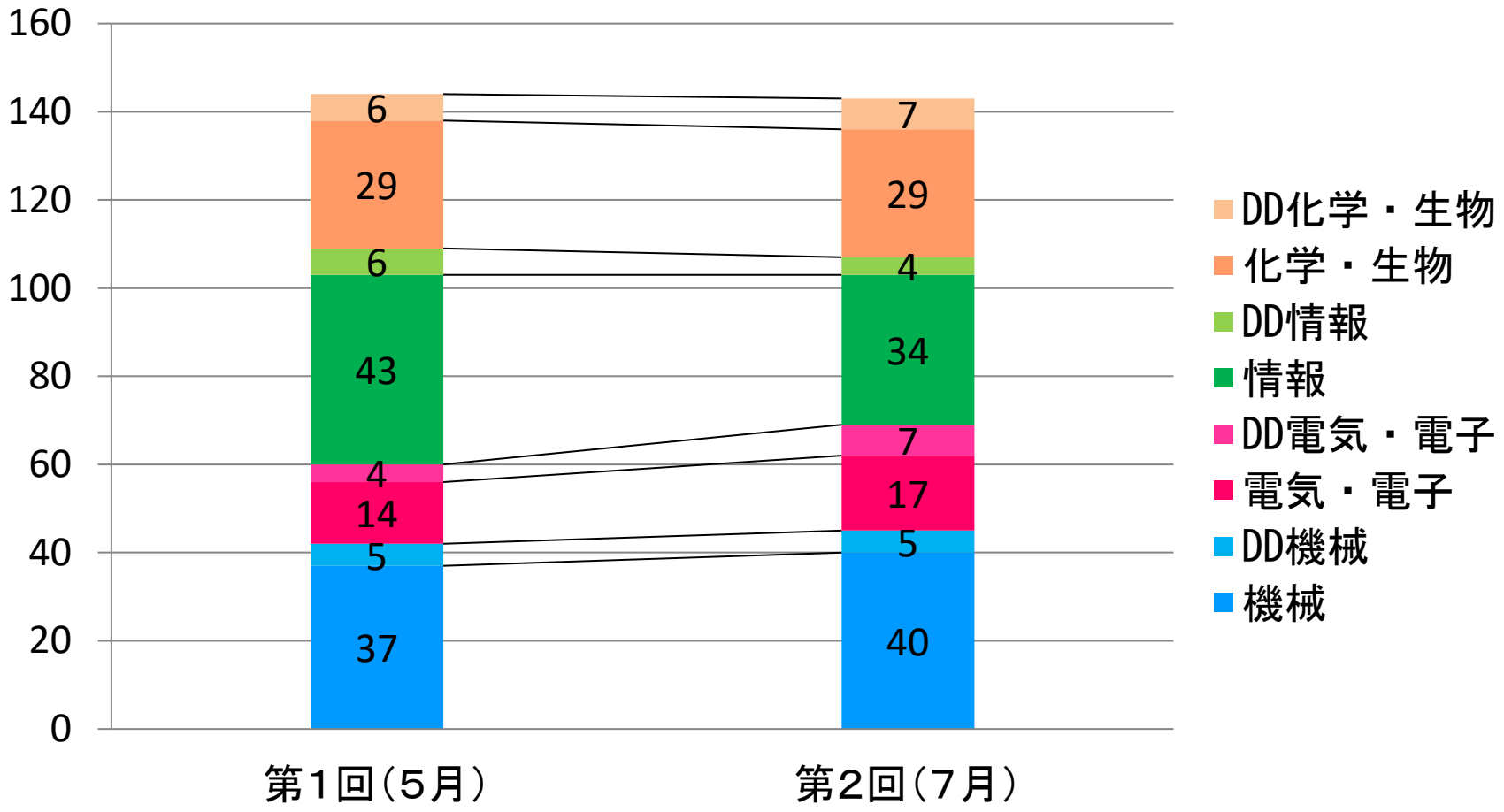
学年全体の
希望調査結果の推移（第一希望）



デジタルデザインコース先行配属学生の希望調査結果の推移（第一希望）



デジタルデザインコース先行配属以外の学生の希望調査結果の推移（第一希望）



前期末試験結果を使用した配属シミュレーション

	機械	電気・電子	情報	化学・生物
コース	31	32	40	30
DD系	6	4	4	6
合計	37	36	44	36

※10月に配付した通知書に誤りがあった。上記は修正後の数値を記載している。

配属方法（デジタルデザインコース先行配属学生）

●後期中間試験時点のコース全体の学業成績１番の者から順番に希望する各系へ配属します。

●各系の配属人数は情報系３名まで、機械系、電気・電子系、化学・生物系それぞれ５名までとします。

●配属人数の枠が埋まった時点で、第２希望の系、次いで第３希望の系、次いで第４希望の系の順序で配属します。

配属方法（デジタルデザインコース先行配属学生）

●配属に用いる後期中間試験時点の学業成績については、次の成績の合計点とします。

・通年で開講する科目
後期中間試験成績。ただし、後期中間試験を実施しない科目は前期末試験成績を使用する。

・前期のみ開講科目
前期末試験成績

・後期のみ開講科目
後期中間試験成績

配属方法（デジタルデザインコース先行配属以外の学生）

●学年末の学年全体の学業成績１番の者から順番に希望する各コース・系へ配属します。

●各コース・系の配属人数は次のとおりとします。
デジタルデザインコース…１０名
〈内訳〉情報系…１名程度
機械系、電気・電子系、化学・生物系…各１～４名程度
情報コース…４０名
機械コース、電気・電子コース、化学・生物コース…各３０～４０名

配属方法（デジタルデザインコース先行配属以外の学生）

●配属人数の枠が埋まった時点で、第２希望のコース・系、次いで第３希望のコース・系、次いで第４希望のコース・系の順序で配属します。

●配属に用いる学年末の学業成績については、現在履修している全教科（音楽や保健体育も含む）の合計点となります。

配属方法（デジタルデザインコース先行配属以外の学生）

F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
化学・生物		情報		電気・電子		機械					化学・生物
電気・電子						化学・生物					電気・電子
情報		希望順１－４				化学・生物					情報
化学・生物	○					電気・電子					化学・生物
情報		化学・生物		電気・電子		機械					情報
化学・生物		機械		電気・電子		情報					化学・生物
化学・生物		情報		機械		電気・電子					化学・生物
機械		情報		電気・電子		化学・生物					情報
化学・生物		機械		電気・電子		情報					化学・生物
電気・電子		機械		情報		化学・生物					電気・電子
機械		情報		化学・生物		電気・電子					情報
機械		化学・生物		電気・電子		情報					電気・電子
化学・生物		電気・電子		機械		情報					電気・電子
機械		電気・電子		化学・生物		情報					電気・電子
機械		情報		電気・電子		化学・生物					情報
機械		電気・電子		情報		化学・生物					電気・電子
機械		電気・電子		情報		化学・生物					電気・電子
機械	○	情報		電気・電子		化学・生物					情報
化学・生物		電気・電子		情報		機械					電気・電子
化学・生物		電気・電子		機械		情報					電気・電子
情報		電気・電子		機械		化学・生物					電気・電子
化学・生物		電気・電子		情報		機械					電気・電子

●配属人数の枠に余裕がある場合でも、各コース配属人数の下限を満たすように調整を行います。

参照：2年生進級時における系・コース配属方針
（令和8年度学生便覧108～112ページ）

配属の流れ（1学年共通）

①11/11(水)　第３回ガイダンス

②11/18(水)　第３回希望調査締切

③12/ 9(水)　第４回ガイダンス

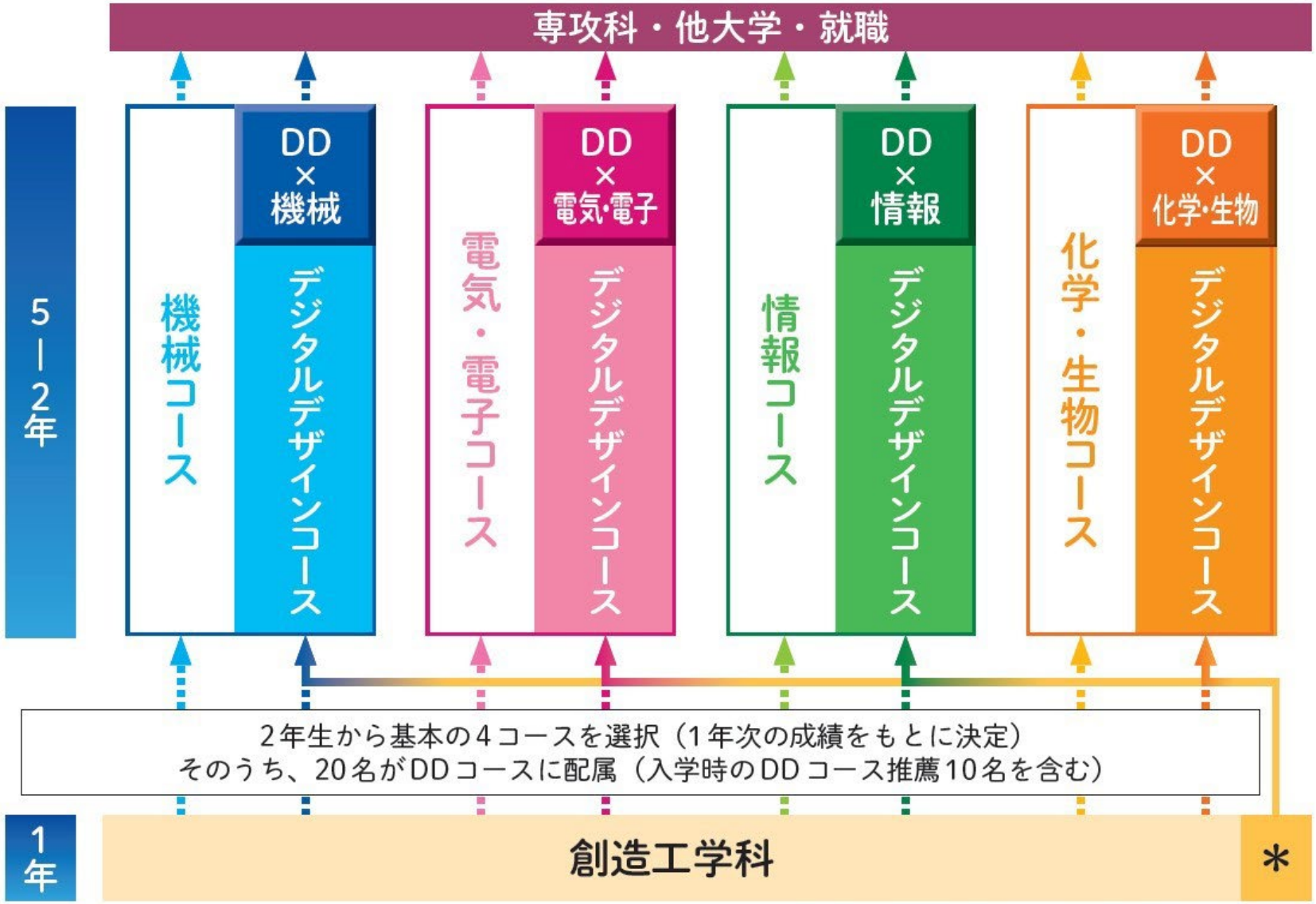
④12/18(金)　後期中間成績確定、３回目シミュレーション

⑤ 1/15(金)　DD学生最終希望調査締切

⑥１月下旬　DD学生系決定、DD残枠を非DD学生へ通知

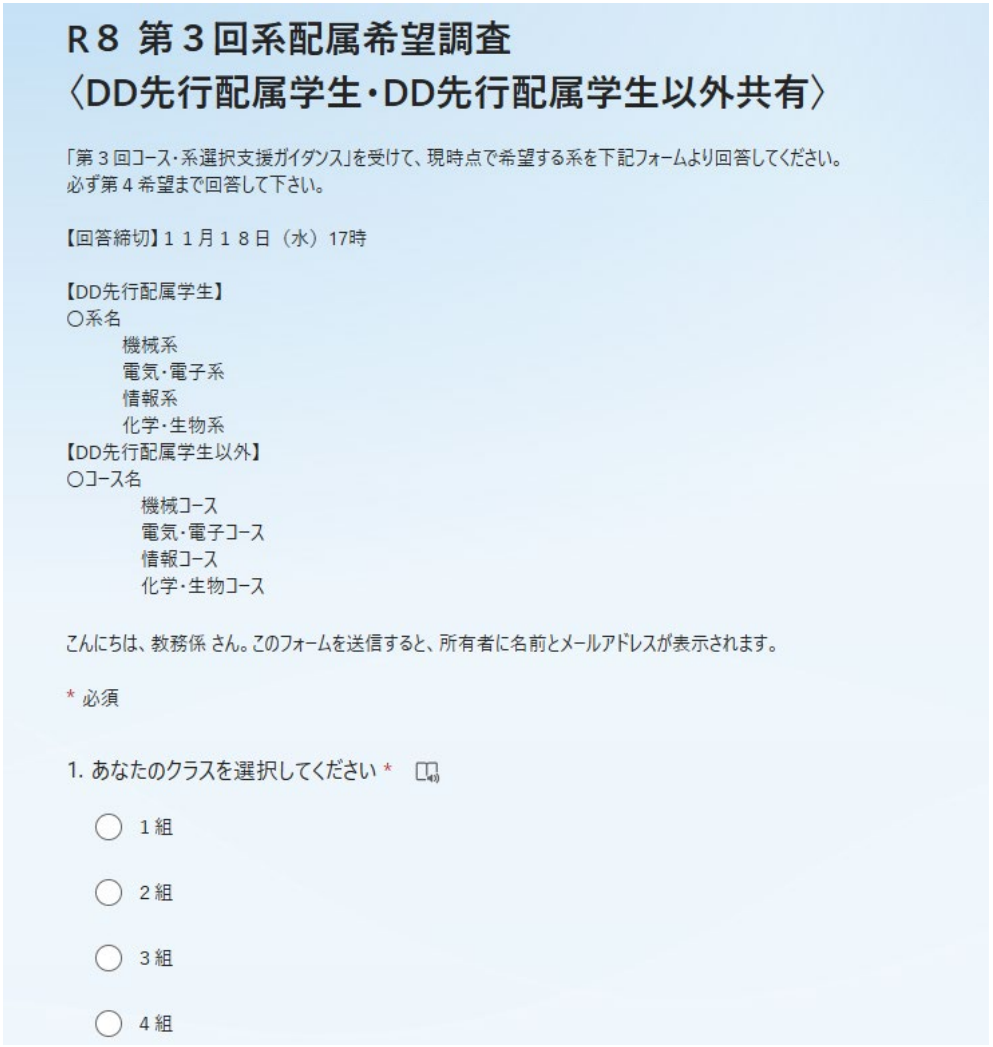
⑦ 2/ 9(火)　非DD学生最終希望調査締切

⑧ 3/ 1(月)　学年末成績確定、非DD学生コース・系決定



コース・系の配属は学業成績で決定

コース･系希望調について



R８ 第３回系配属希望調査
〈DD先行配属学生･DD先行配属学生以外共有〉

「第３回コース･系選択支援ガイダンス」を受けて、現時点で希望する系を下記フォームより回答してください。
必ず第４希望まで回答して下さい。

【回答締切】１１月１８日（水）17時

【DD先行配属学生】
〇系名
機械系
電気･電子系
情報系
化学･生物系
【DD先行配属学生以外】
〇コース名
機械コース
電気･電子コース
情報コース
化学･生物コース

こんにちは、教務係 さん。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

* 必須

1. あなたのクラスを選択してください *

1組
2組
3組
4組

- ガイダンス終了後、Teamsにて希望調のURLを掲載します。
- 第１希望～第4希望まで必ず記入してください。
- 締切は【１１月１８日（水）】とします。

第2回コース・系配属希望調査で寄せられた質問への回答

1	コース関係	各コースの男女比が知りたい	教務主事	各コース２～５年生の男女比は以下のとおりです。 機械コース，機械系　122：20 電気・電子コース，電気・電子系　123：16 情報コース，情報系　131：42 化学・生物コース，化学・生物系　109：59